



各 位

上場会社名 川辺株式会社
代表者 代表取締役社長 吉田 久和
(コード番号 8123)
問合せ先 執行役員経営管理統括本部管理本部長
兼総務部長 五十川 幹雄
電話 03-3352-7110

平成28年3月期 個別経営成績の前事業年度実績値との差異に関するお知らせ

平成28年3月期決算における個別経営成績の前事業年度実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 28 年 3 月期 個別経営成績の前事業年度実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 27 年 3 月期(B)	15,490	209	283	320
平成 28 年 3 月期(B)	16,136	536	605	377
増減額 (B - A)	646	326	322	57
増減率	4.2%	155.6%	113.7%	17.9%

2. 差異の理由

売上高につきましては、ハンカチーフは第2四半期以降、百貨店の売場占有率を更に拡張できたことと、外国人観光客の増加によるインバウンド需要から、大都市圏を中心とする百貨店店舗における販売を伸長できたことなどから、前年比112.3%と好調に推移いたしました。

フレグランスは、当社の主力商品である『サルヴァトーレフェラガモ』、『プラダ』、『ヴェルサーチ』等のブランド品売上は順調に推移し、ホールセール向けの売上も第4四半期に回復をしましたが、百貨店・直営店における不採算店舗閉店等の影響により、フレグランス事業の売上高は前年比99.9%と微減になりました。

この結果、売上高は6億46百万円増加いたしました。

利益面につきましては、身の回り品事業において、ハンカチーフ商材が外国人観光客の増加によるインバウンド需要と正価品の販売が好調であった事により、売上総利益が増加し、前期と比べ増益となりました。

フレグランス事業におきましては、売上は微減となりましたが、収益性の高い商材の販売が好調に推移したことから、売買益率が伸長し、経費削減策の効果も大きく影響いたしました結果、前期と比べ利益は大幅に改善され、黒字化を果たしました。

以上の理由により、前期と比べ当事業年度におきましては、営業利益3億26百万円、経常利益3億22百万円、また当期純利益は前事業年度において川辺大阪ビルの売却等により、特別利益3億44百万円、特別損失58百万円の計上がありましたので、当期純利益は57百万円の増益となりました。

以 上